

年々増え続ける“保険給付費と納付金”今年度も赤字を想定

介護保険 保険料率を改定
 令和8年度の準備金(保有基準額)の確保および納付金の支出状況を踏まえ、**介護保険料率を16.2/1,000から15.6/1,000に改定いたしました。**これにより、月額30万円の被保険者は90円、月額50万円の被保険者は150円と若干の減額となります。

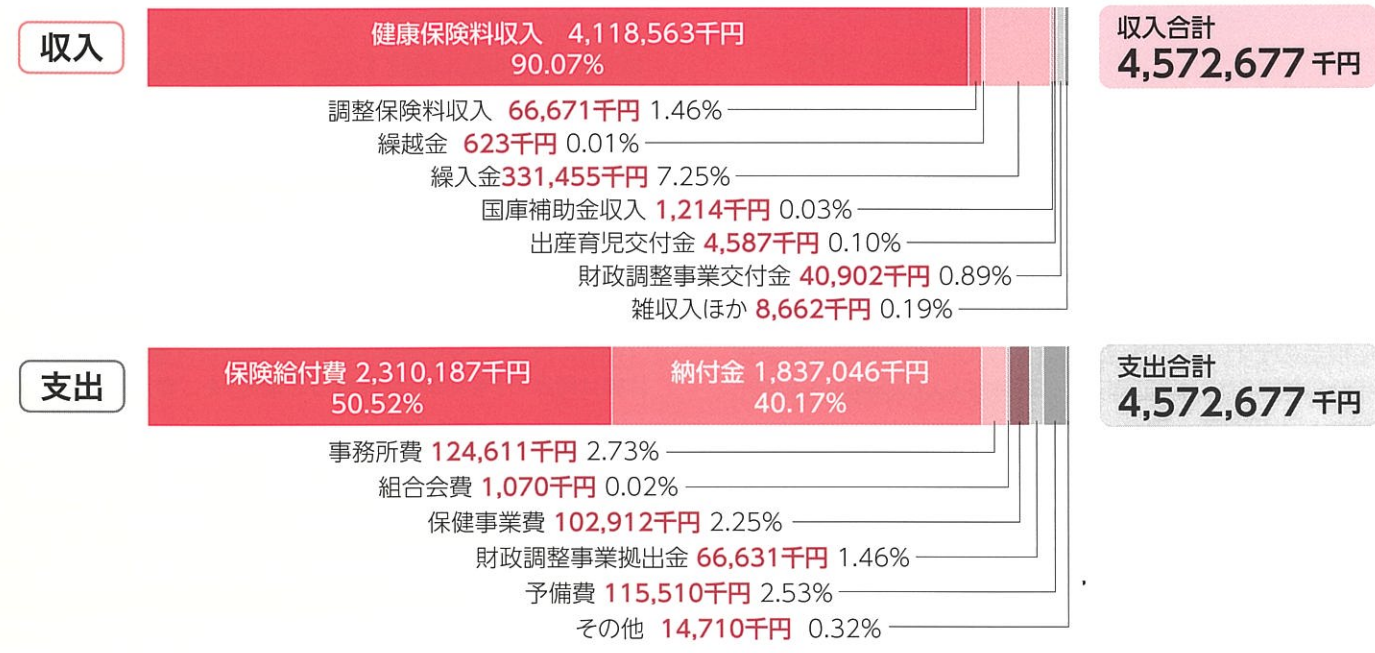
子ども・子育て支援金 支援金率を決定
 令和8年4月より子ども・子育て世帯を社会全体で支える制度として「子ども・子育て支援金」がスタートしました。**今年度の支援金率は2.3/1,000に決定され、被保険者・事業主が折半することとなりました。**なお、支援金は国に代わり健康保険組合が代行徴収いたします。これにより、月額30万円の被保険者は345円、月額50万円の被保険者は575円を徴収いたします。

令和8年度予算の保険料収入(調整保険料含む)は、被保険者数・平均標準報酬月額・総標準賞与額の増加を見込んでいます。令和7年度予算より2億9,950万円増加の41億8,523万円と想定しています。また、支出については、こちらも令和7年度予算比で保険給付費は6,452万円増加の23億1,019万円、納付金は2,076万円増加の18億3,705万円を想定しています。
 その結果、収支予想では3億8,466万円の赤字となり、別途積立金からの繰入金で補填いたします。今後、収入面においては、定年年齢の引き上げおよび再雇用制度の見直しによる影響を見定めるとともに支出面においては医療費ならびに高齢者納付金の増加が見込まれ、引き続き厳しい財政運営になると予想しています。

【令和8年度 収入支出予算額】

令和8年度平均標準報酬月額(公告第6号) 任意継続被保険者の標準報酬月額上限決定の基礎とする令和8年度平均標準報酬月額は530,000円です。

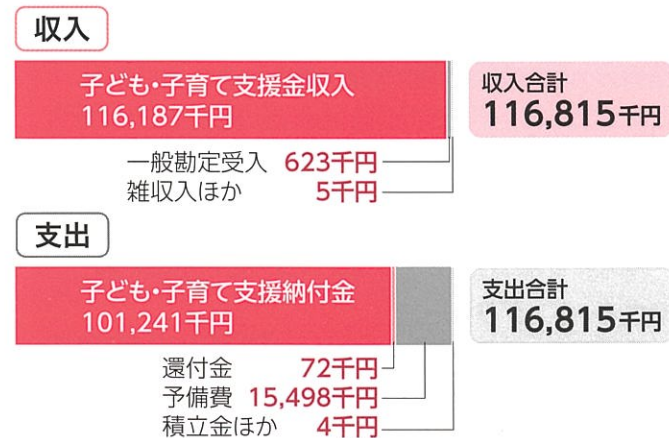
一般勘定



介護勘定



子ども勘定



令和8年度 予算のお知らせ

第158回組合会を終えて

日頃から健康保険組合の事業運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 去る2月13日に組合会を開催し、報告事項6点、審議事項4点の全てについて承認をいただきました。令和7年度収入支出予算では、予算策定時に5億2千万円ほどの赤字を見込んでいましたが、保険給付費・事務所費・保健事業費等の支出が予算を下回ったことから、赤字の額は圧縮されましたが、それでもその額は7千万円弱となる見通しです。一方、令和8年度予算は、前年度予算比で被保険者数・標準報酬月額・総標準賞与額の増加などにより保険料収入は増収となりますが、年々増え続ける保険給付費に加え納付金増加の影響もあり、令和7年度より額は少ないものの3億1千万円ほどの赤字を想定しています。なお、この赤字には別途積立金からの繰入金で補填いたします。今後も、医療の高度化・高額薬剤の保険適用による保険給付費や、高齢化の進展による納付金の増加が見込まれますが、現在の保険料率(8.2%)を可能な限り維持できるよう効率的な事業運営に尽力してまいります。なお、介護保険料率については、前年度比0.06ポイント減の1.56%としております。また、保健事業は引き続き事業主とのコラボヘルスのもと被保険者および被扶養者の健康の保持・増進、疾病・重症化予防に資する事業を展開してまいります。この後も安定的な事業運営、財政運営を行ってまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本年4月より子ども・子育て世帯を全世代・全経済主体が支えるとした、子ども・子育て支援金制度がスタートし、健康保険組合が国に代わって支援金を徴収するという代行徴収の役割を担うこととなりました。令和8年度の料率は、0.23%で被保険者・事業主がそれぞれ折半することとなりましたのでご理解をお願いいたします。



北海道電力健康保険組合 理事長 千葉 哲也

【収入支出予算額】

健康保険収入 45億7,268万円
(繰入金含む)
介護保険収入 4億9,718万円
子ども・子育て支援金収入 1億1,682万円

【保険料率】(公告第5号)

※健康保険料率には、調整保険料率を含む。

	被保険者	事業主	合計
健康保険料率*	36.900/1,000	45.100/1,000	82.000/1,000
(基本保険料率)	20.113/1,000	24.582/1,000	44.695/1,000
(特定保険料率)	16.202/1,000	19.803/1,000	36.005/1,000
(調整保険料率)	0.585/1,000	0.715/1,000	1.300/1,000
介護保険料率	7.800/1,000	7.800/1,000	15.600/1,000
子ども・子育て支援金率	1.150/1,000	1.150/1,000	2.300/1,000

令和8年2月13日開催の組合会において、一般保険料率、調整保険料率、介護保険料率、子ども・子育て支援金率、令和8年度保健事業計画、収入支出予算について可決・承認されました。

- おもな収入**
保険料収入(調整保険料含む)
 被保険者の給与・賞与等から納めていただいています。前年度予算比で2億9,950万円増の41億8,523万円を見込んでいます。
- 繰入金**
 赤字予算の補填等として、別途積立金繰入などから3億3,145万円を見込んでいます。
- 財政調整事業交付金**
 高額医療費の一部として健保連本部から交付金4,090万円を見込んでいます。
- おもな支出**
- 事務所費**
 役職員の人件費・社会保険料、基幹システム使用料、システム改修費用、基本ソフト改修費用、レセプト点検委託料および消耗品等を含め1億2,461万円を計上しました。
- 保険給付費**
 本人家族の自己負担以外の医療費や薬代、出産育児時金、傷病手当金等の法定給付費として22億2,482万円を計上し、付加給付金として8,537万円を加えて保険給付費合計23億1,019万円の支出を予想しています。保険給付費は疾病の早期治療重症化予防に加えセルフメディケーションにより低減も可能なことから、被保険者・被扶養者のご協力を願っています。
- 保健事業費**
 特定健診・特定保健指導、人間ドック・各種健診費用補助に加え、禁煙・口腔衛生費用補助、機関誌発行、ウォーキングラリーなどの健康づくりに役立てる費用として1億2,911万円を計上しています。今年度も生活習慣病対策や重症化予防にも引き続き取り組んでいきます。また、加入率の高いPeP UP(ペップアップ)を活用した、各種健康イベント情報を発信します。
- 納付金**
 前期高齢(65歳~74歳)の医療費として前期高齢者納付金6億9,581万円、後期高齢者(75歳以上)の医療費として後期高齢者支援金11億4,123万円を支出します。これらを含む納付金の総額は18億3,705万円、前年度予算比2,076万円の増となり、保険料収入に占める割合は43.89%となりました。今後も高齢者の増加と医療の高度化により納付金の増加が想定されます。